

**「藍場浜公園西エリア・新ホール整備事業 基本・実施設計業務」公募型プロポーザル
審査結果及び全体総評**

1 審査結果

優先交渉権者：株式会社石本建築事務所 大阪オフィス（受付番号 01）

次点交渉権者：有限会社香山建築研究所（受付番号 13）

2 プロポーザルの経緯

プロポーザルの公告から審査結果公表までの主な実施経緯は、以下のとおりです。

日程	内容
令和 8 年 3 月 3 0 日(月)	公告及び応募要項等の公表
4 月 1 3 日(月)	質問書提出締切（第 1 回）
4 月 2 1 日(火)	質問回答書公表（第 1 回）
5 月 8 日(金)	参加表明書提出締切
5 月 2 2 日(金)	実施方針書提出締切
5 月 2 2 日(金) ～ 6 月 1 日(月)	一次審査（書面審査）
6 月 2 日(火)	一次審査（書面審査）結果の公表
6 月 1 2 日(金)	質問書提出締切（第 2 回）
6 月 1 9 日(金)	質問回答書公表（第 2 回）
7 月 1 3 日(月)	技術提案書提出締切
7 月 2 7 日(月)	二次審査、優先交渉権者決定及び二次審査結果の公表

3 審査委員会の開催状況

(1) 審査委員

◎審査委員長

分野	氏名	所属・役職
建築・ まちづくり	佐藤 慎也	日本大学理工学部建築学科 教授、八戸市美術館 館長
	深尾 精一	首都大学東京（現東京都立大学） 名誉教授
	◎山中 英生	徳島大学 名誉教授 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 研究部長顧問
舞台芸術	伊藤 久幸	公益財団法人札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部 舞台技術アドバイザー
	渡辺 弘	岡山芸術創造劇場 劇場長兼プロデューサー
地域連携	佐野 靖	徳島文理大学 副学長、東京藝術大学 名誉教授
音楽	三宅 孝典	徳島文理大学 教授 Osaka Shion Wind Orchestra 楽団員

※ 敬称略・分野別・五十音順

(2) 一次審査（書面審査）の概要

開催日：令和8年5月22日（金）～6月1日（月）

場 所：書面開催

内 容：事務局による業務実績調書、配置予定技術者調書等に基づく「書面評価」
及び7名の審査委員による実施方針書の「書面審査」を実施

結 果：参加表明書及び実施方針書の提出があった18者の中から、得点上位の5者を二次審査に進む事業者として選定

【選定した事業者】

株式会社石本建築事務所 大阪オフィス

株式会社久米設計

有限会社香山建築研究所

株式会社佐藤総合計画 関西オフィス

株式会社松田平田設計 大阪事務所

※ 五十音順

【各事業者の採点結果】

（7名の審査委員による合計点）

受付番号 01	683.8 点 （1 位）	受付番号 10	440.1 点
受付番号 02	637.1 点 （2 位）	受付番号 11	486.1 点
受付番号 03	468.6 点	受付番号 12	493.5 点
受付番号 04	484.7 点	受付番号 13	595.6 点 （4 位）
受付番号 05	613.0 点 （3 位）	受付番号 14	466.7 点
受付番号 06	390.2 点	受付番号 15	568.6 点 （5 位）
受付番号 07	514.6 点	受付番号 16	468.8 点
受付番号 08	476.6 点	受付番号 17	563.4 点
受付番号 09	358.6 点	受付番号 18	387.7 点

(3) 二次審査の概要

開催日：令和8年7月27日（月）

場 所：とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）

内 容：7名の審査委員による技術提案書の提案審査を実施

結 果：技術提案書の提出があった5者の中から、審査委員が採点した結果に基づき、得点最上位者を「優先交渉権者」に、次に得点が高い者を「次点交渉権者」に選定

【各事業者の採点結果】

(7名の審査委員による合計点)

項目		受付番号 01	受付番号 02	受付番号 05	受付番号 13	受付番号 15
一次審査の評価点 (一次審査の評価点合計×1/6)		114.0 点	106.2 点	102.2 点	99.3 点	94.8 点
技 術 提 案 書	事業理解と 施設全体計画	202.5 点	157.5 点	142.5 点	150.0 点	142.5 点
	実施体制	60.0 点	55.0 点	45.0 点	55.0 点	45.0 点
	文化ホールとしての 機能充実	287.5 点	200.0 点	175.0 点	275.0 点	212.5 点
	県都のにぎわいづくり への寄与	115.0 点	90.0 点	105.0 点	95.0 点	105.0 点
	工期短縮・コスト縮減	200.0 点	190.0 点	170.0 点	160.0 点	160.0 点
	その他施設計画	105.0 点	90.0 点	90.0 点	75.0 点	90.0 点
	地域貢献	52.5 点	47.5 点	50.0 点	40.0 点	47.5 点
合 計		1136.5 点 (1 位)	936.2 点	879.7 点	949.3 点 (2 位)	897.3 点

4 審査委員会による全体総評（講評）

【審査全般】

まず、3月末の公告から限られた期間の中で、多くの時間と労力を費やし、創意工夫に富む優れた提案をいただいた全ての事業者の皆様に対し、審査委員一同、深く敬意を表します。

二次審査に進んだ5者の提案はレベルが非常に高く、文化ホールとしての機能、藍場浜公園や新町川など周辺環境との一体性、工期短縮・コスト縮減策など、重点事項に対して、豊富な経験に裏付けされた的確な提案がなされていました。特に、外部空間と一体的な市民利用については、それぞれ明確なコンセプトと洗練されたデザインが提案されており、これまでにない新しいホール建築の姿を感じられるものでした。

新ホールが、県民が身近に文化芸術に親しみ、またその余韻を楽しむ空間を提供することで、感動の共同体験を創出する場となることを期待するとともに、新ホールを核として、徳島駅周辺のにぎわい創出にむけた官民の取り組みが広がることを願っています。

【優先交渉権者（株式会社石本建築事務所 大阪オフィス）】

本提案は、新町川との親和性を意識した「水辺の劇場」をコンセプトに、隣接する藍場浜公園やあわぎんホールをつなぐ「藍場浜コモンデッキ」の提案が大きな特徴となっています。特に、川辺という立地を生かしたデッキを配することで、ホール利用者以外の人々を呼び込める開かれた空間構成となっていること。さらに、大ホール客席の2層構造

採用で建物のボリュームを抑制するとともに、屋上の緑化を採用するなど、周辺環境と調和した景観構成が高く評価されました。

また、2階に大ホールや活動室などの「一般動線」を、1階に「楽屋・管理動線」を分離して配置するなど、ホール施設としての機能性を高めた空間構成が特徴となっており、大ホールは、舞台回りの機能を的確に配置した上で、2層形式の客席でも臨場感のある視距離を実現しています。

こうした文化ホールとしての機能性に加え、建物のコンパクト化と合わせ、既存地下駐車場躯体の活用方法の提案や、設計期間内でのコスト管理のための実現性検証会議の設置など、コスト縮減を図る堅実なアプローチ・体制の提案も評価のポイントとなりました。

加えて、仕様書で示す重点事項や、敷地・施設整備に関する基本要件を的確に理解し、提案を具現化するための十分な業務遂行能力と対話力を有する点も高く評価されました。

【次点交渉権者（有限会社香山建築研究所）】

本提案は、大ホールの劇場機能を5階の「天空の広場」として浮かせ、その直下の低層階において、藍場浜公園との一体化を図った「大地の広場」や、県民の日常的な活動の場を配置するものであり、地下駐車場を可能な限り残置した上で機能を成立させる、大胆な計画です。

巨大な構造物が上部へ配置されることに対する景観面への懸念や、管理運営面での不安などの意見もありましたが、多目的スタジオや活動室などを1階に配置して、日常的なにぎわいを生み出そうとする計画は、公共ホールのあり方を深く理解した提案として評価されました。